

取組事例 A

1. 事業所の概要

- 業種・事業内容 : 電子デバイスの研究開発・生産・販売(支社)
- 入居建物 : 平成11年1月竣工の自社ビル。ビルの管理は管理会社に委託。
- 従業員数 : 295名(男女比=6:4)
- 喫煙者割合 : 平成22年6月時点で約25%(42名:男性 40名、女性 2名)

2. 現在の受動喫煙防止対策

【建物内全面禁煙】

喫煙場所は2階の中庭(屋外)に1箇所
就業時間中は喫煙不可



【喫煙所(屋外2階中庭)】
・灰皿4台、ベンチ2台設置
・非常階段が雨よけになっている



【喫煙所の出入口】
・扉の内側に喫煙可能時間を掲示している

3. 対策実施にあたって(経緯、工夫した点、苦労した点等)

- ・ビル竣工当初は各フロアに喫煙所あり ⇒ 各フロアの喫煙所を廃止して食堂1箇所のみ喫煙可能に ⇒ 食堂を禁煙にして屋外に喫煙場所を設置 ⇒ 労使協議を経て、就業時間内は禁煙に
- ・もともと喫煙所を想定した設計ではないが、屋外中庭が喫煙所としてベストスポットと判断。
- ・従業員への周知には苦労している。
- ・ルールに素直に従わない人や、「健康は自己責任なので余計な指導は不要」という人がいる。このような人に対しても指導・支援を継続していくのが、会社の使命と考えている。

4. 対策を実施をして(効果、現在の課題、今後の予定等)

- ・喫煙場所は非喫煙者があまり行かない場所なので、以前より受動喫煙の機会が減った。
- ・喫煙しにくい環境になったことに加え、禁煙セミナーや産業医面談、禁煙パッチ無料配布等の取組も後押ししているのか、禁煙者や禁煙希望者が増加している。
(喫煙者率:07年度:35%→08年度 31%→09年度:25%→10年度:21%)
- ・喫煙が認めれた時間以外にも喫煙してしまう、一部のルール違反者をどう指導するかが課題。対応策の1つとして出入口を封鎖する案もあったが、委員会で議論をした結果、現状を維持することになった。先ず「ルール厳守を徹底すること」、次に「喫煙者を減らす・ゼロにすること」の2段階で考えていきたい。

取組事例 B

1. 事業所の概要

- 業種・事業内容 : エネルギーシステム事業
- 入居建物 : 平成17年5月入所
- 従業員数 : 150名
- 喫煙者割合 : 25%前後(30~50名)

2. 現在の受動喫煙防止対策

【空間分煙(屋外排気あり)】

喫煙場所は1箇所



【喫煙室の様子】
空間を完全に区切るため、パーテーションの上部にボードを貼り付けている。(左の写真)

3. 対策実施にあたって(経緯、工夫した点、苦労した点等)

- ・女性社員から、特に自席で吸える環境をどうにかして欲しいという声があがったことがきっかけ。
- ・親会社が完全分煙にしたのに習って、対策を行った。
- ・いまの直前の事務所の時に完全空間分煙の形に移行。(さらにその前の事務所では、完全に空間が区切られていない分煙だった)
- ・喫煙スペースをなくそうという話も出たが、喫煙者から反対意見が出て、スペースを縮小することで合意した。22年4月に、4畳分くらいあったスペースを半分くらいにした。

4. 対策を実施をして(効果、現在の課題、今後の予定等)

- ・女性社員や煙の臭いが嫌いな社員からは、会社としてよく導入してくれたという印象は持たれている。しかし、喫煙スペースが狭くなり、喫煙者の評判は悪い。
- ・喫煙している時間は休憩をしているのではという意見や、たばこの時間がやたらと長い社員がいるという意見など、喫煙しない社員から不公平を訴える声があがっている。
- ・2年後を目指して、完全禁煙にしたい。

5. その他の喫煙対策

- ・安全衛生委員会が中心となり、産業医による講習会などを実施している。

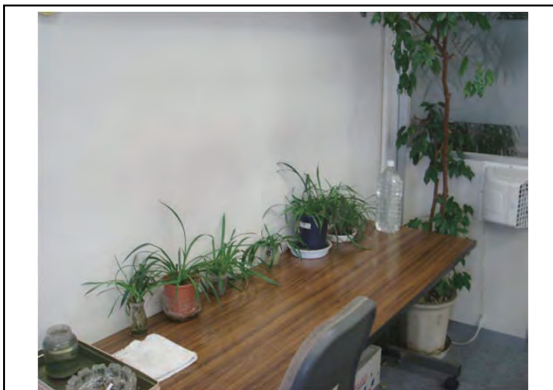
1. 事業の概要

- 業種・事業内容 : 運輸業
- 入居建物 : 自社ビル、昭和20~30年入居
- 従業員数 : 56名(男女比:男性がほぼ10割)
- 喫煙者割合 : 35%未満

2. 現在の受動喫煙防止対策

【空間分煙(屋外排気あり)】

喫煙室は1箇所



【オフィス入口に隣接する喫煙室】
・1~2か月に一回エコ活動としてエアコン等すべて掃除する機会に掃除している。



(外側) (内側)

【ドア横の換気扇】
・ドア付近のニオイがかなり軽減された
・換気扇の大きさにちょうど合ったダクトを見つけ、室内側に取り付けた

3. 対策実施にあたって(経緯、工夫した点、苦労した点等)

- ・2年前は区画されていないスペースに集煙器を設置して吸っていた。
- ・世の中で受動喫煙が騒がれており、また、新しい課所長が非喫煙者のため対策を始めた。
- ・ドアから煙が漏れて臭うという声があがったので、1ヶ月くらい前にドア横に換気扇を付けて、煙が全部喫煙室の窓へ(喫煙室のみを通過して屋外へ)流れるようにした。

4. 対策を実施して(効果、現在の課題、今後の予定等)

- ・喫煙者が気兼ねなく吸えるようになり、非喫煙者や産業医、保健師からも好評を得ている。
- ・まだ臭うという意見が出れば、ドア横の換気扇をもう一台加えるか、換気扇のサイズを大きいものに取り替えるなどの努力をしていく。
- ・会社の方針や、社会的に必要性があればその都度対応していく。

5. その他の喫煙対策

- ・禁煙外来について、ポスターを掲示して周知している。

1. 事業所の概要

- 業種・事業内容 : アパレル
- 入居建物 : テナント、入居歴5年
- 従業員数 : 650名(男女比=6:4)
- 喫煙者割合 : 33.5%(女性の喫煙率が高い)

2. 現在の受動喫煙防止対策

【空間分煙(屋外排気あり)】

喫煙場所は3フロア中の2フロアに1箇所ずつ

会議室が並んでいるエリアの中に区画された喫煙室を設置



【喫煙室の様子】

3. 対策実施にあたって(経緯、工夫した点、苦労した点等)

- ・8年前はまだどこでも吸えるような状態だったが、受動喫煙が騒がれ始めたため、喫煙室を作った。しかし、屋外排気能力が十分でなく、臭いについての内部からの苦情があったので、外へ排気するパワーを強くした。
- ・以前のオフィスよりもよくしていこうということが常に議論され、段階的に改善していった。
- ・産業保健センターから機材を借りて、空気環境の測定や粉塵を調べたりしている。

4. 対策を実施をして(効果、現在の課題、今後の予定等)

- ・吸う場所が少なくなってきていることによって、トイレや裏で吸ってしまうといったマナー違反が起これかねないので、コンセンサスをとりながら進めていくしかないと考えている。
- ・喫煙を認めること自体が問題なのではないかという話が統括産業医から出てきているので、どこかで全面禁煙に踏み切らなければならないと考えている。

5. その他の喫煙対策

- ・全社的に、健康保険組合などと合同で保健師の相談窓口を設けるなどして、禁煙のサポートをしていくことを考えている。

1. 事業所の概要

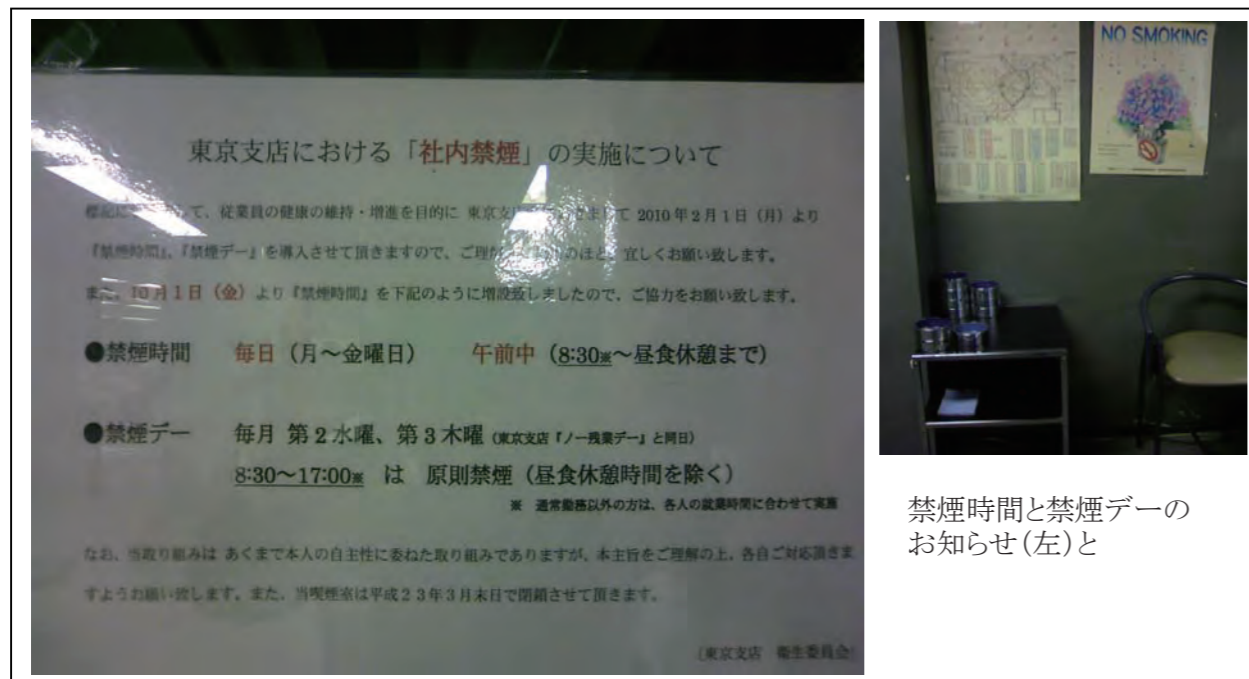
- 業種・事業内容 : 医薬品製造販売
- 入居建物 : 自社ビル、昭和55年に竣工。29年目。
- 従業員数 : 170名(男女比=2:1)
- 喫煙者割合 : 20%弱(30名ぐらい)

2. 現在の受動喫煙防止対策

【空間分煙(屋外排気あり)】

喫煙場所は1箇所

午前中は全面禁煙、禁煙デーも設定



禁煙時間と禁煙デーのお知らせ(左)と
禁煙時間と禁煙デーのお知らせ(左)と

3. 対策実施にあたって(経緯、工夫した点、苦労した点等)

- ・対策導入当初は喫煙場所での喫煙時間に制限なし ⇒ 22年1月から月、水、金曜日だけ喫煙可能に ⇒ 22年10月から午前中は禁煙に
- ・トップダウンで対策をしろと言われた。最終的には社内の喫煙者を0人にするを目指している。
- ・応接室の灰皿も撤去したので、お客様の対応が懸案事項だったが、お客様の理解も進んでいるので問題は出ていない。

4. 対策を実施をして(効果、現在の課題、今後の予定等)

- ・世の中の流れなので、自由に喫煙できないことによるクレームはない。
- ・喫煙できる指定期間外は喫煙ルームの電源を抜いて電気を消しているが、それでも入ってたばこを吸おうとする人もいる。自主性を重んじているので監視はできない。
- ・一気に進めると批判も出るため、本社を含め全国同時に徐々に全面禁煙に向けて取組を進めている。